

# 竹原市すくすくプラン 2020

(計画年度：令和2～6年度)

## 概 要 版

令和2年3月

竹 原 市

## ○基本理念

『基本理念』 子ども・親・地域がともに成長するまち

『目指す姿』 つながるつなげる 竹原スマイル。

『計画の名称』 竹原市すくすくプラン2020

### ■基本理念

平成27年に策定した「竹原市子ども・子育て支援事業計画」で整えた「みんなで支える」子育て環境を土台としながら、「子ども」「親」「地域」のそれぞれがともに成長することで、まちが元気になり、活力があふれる『子ども・親・地域がともに成長するまち』をつくることを基本理念とします。

#### 子育てを通じた3つの成長

**子ども** みんなに見守られながら、のびのびと健やかに育ち、故郷・地域を大切に思う人に成長する。(心身の成長)

**親** 家庭を築き、幸せや喜びを感じながら子育てをし、子どもとともに成長する。(精神的な成長)

**地域** 地域の人々が積極的に子育てに関わることで、活力あふれる元気な地域づくりが進んでいる。(活力=成長)

### ■目指す姿

「子ども」「親」「地域」がお互いに助け合い、支えあう強い絆で結びつき“つながる”ことで“スマイル”になり、その“スマイル”を次世代へと“つなげて”いく。

竹原市は、子育てを通じて“みんなが笑顔になり、明るい未来へと成長していくまち”を目指します。

### ■計画の名称

「第2期子ども・子育て支援事業計画」の名称を、誰もが子育てを身近に感じ、子育てに対するそれぞれの役割を確認するため、親しみやすい名称とします。

## ○基本目標

### ■4つの基本目標

「子育て前の時期」「就学前児童の時期」「就学児童の時期」と子どもの成長段階に応じて設定し、多様な子育て支援施策が子どもの成長のどのタイミングで実施されているか、誰がみても分かりやすい目標となるよう、基本目標を設定しています。

また、すべての子どもの成長段階において、地域が子育てを支える役割が必要であることから、地域が目指すべき目標を設定します。

本計画の基本目標	
基本目標1	出会い、結ばれ、子どもを持つ希望が、きめ細かいサポート体制によりかなえられている
基本目標2	親が子どもと向き合い、子どもの成長を喜びながら、楽しく子育てできる環境が整備されている
基本目標3	充実した教育環境のもと、すべての子どもが心豊かにたくましく成長している
基本目標4	地域や社会が親、家庭に寄り添いながら子育てを支援し、地域に絆やつながりが生まれている

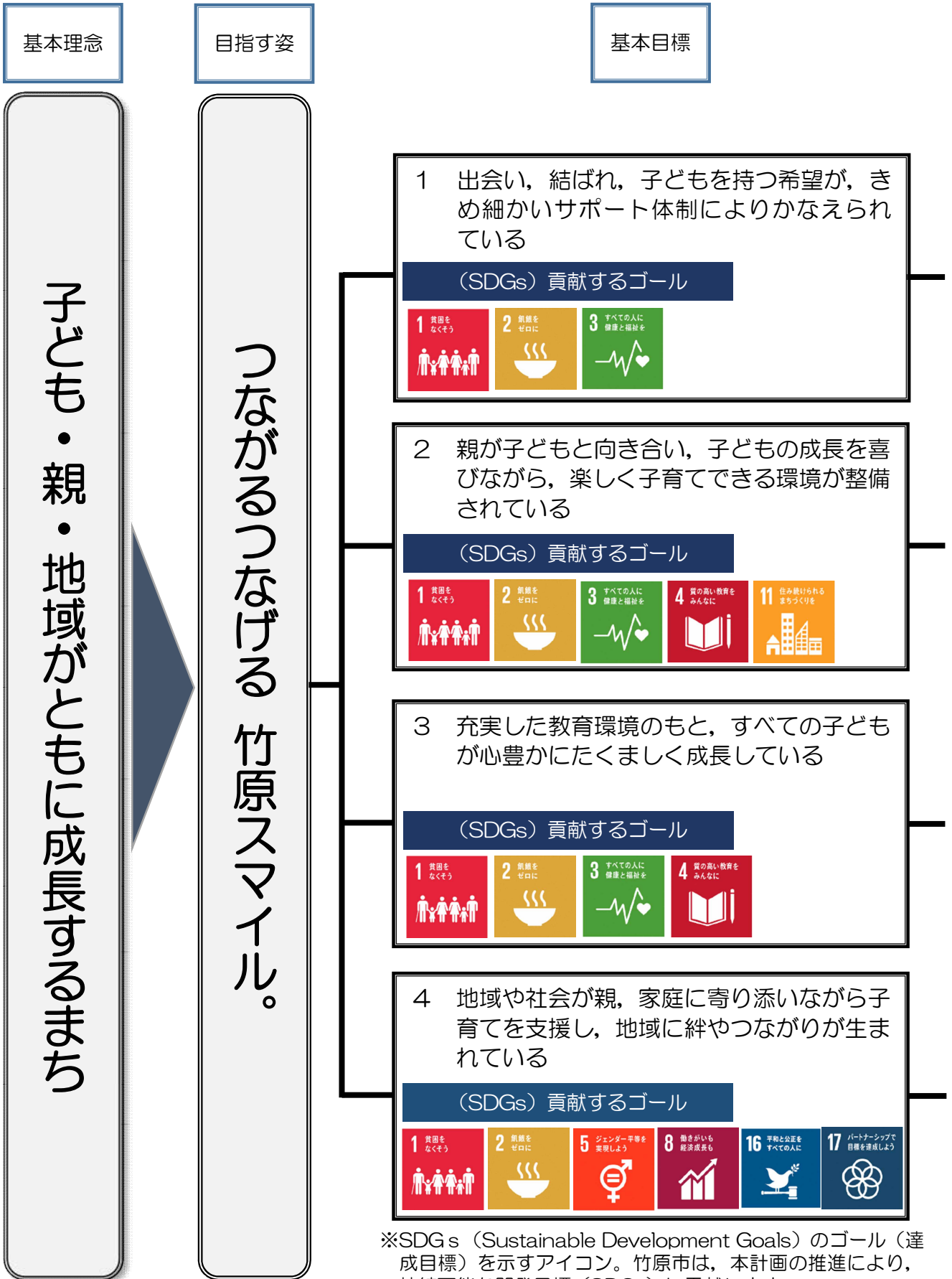
### ■SDGs

この基本目標を達成するために各施策を推進することは、平成27年国連サミット採択の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げる17の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、関連する開発目標の達成に貢献します。

#### 【本計画の基本目標と関連のあるSDGsの開発目標】



○計画の体系図



※SDGs (Sustainable Development Goals) のゴール (達成目標) を示すアイコン。竹原市は、本計画の推進により、持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献します。

基本施策

出会い、結婚を応援する機運が醸成されている

子どもを望む世帯への支援が充実している

安心して出産できる環境が整備されている

親と子が健康で、元気に成長している

多様なニーズに対応する子育て支援体制が整っている

安全で、子育てしやすいまちになっている

充実した教育環境のもと子どもの生きる力が育まれている

様々な場所に豊かな体験学習の機会がある

青少年が健全に育っている

仕事と子育ての両立が推進されている

地域住民の子育てへの参画が進んでいる

すべての子どもと家庭をきめ細かく支援するための体制が充実している

子どもの貧困対策

基本目標1 出会い、結ばれ、子どもをもつ希望がきめ細かいサポートによりかなえられている

【対象】 出会いから出産まで					
KGI (重要目標達成指標)		現状	年度	目標 (R06)	
婚姻率 (広島県人口動態統計調査・人口千人あたりの割合)		3.2%	H29	4.3% (R05)	
出生率 (住民基本台帳・人口千人あたりの割合)		4.04%	H30	5.04%	
出会い・結婚	基本施策1 出会い、結婚を応援する機運が醸成されている	【取組の方向性】 ①市外住民との出会いの場の創出 ②市民同士の出会いの場の創出			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標 (R06)
	人口千人当たりの竹原市への婚姻届提出率 (住民基本台帳) (10/1 現在)		2.49%	H30	4.03%
子育て支援	基本施策2 子どもをのぞむ世帯への支援が充実している	【取組の方向性】 ①産み育てることへの支援 ②不妊治療への支援			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標 (R06)
	人口千人当たりの出生率 (住民基本台帳人口・年度末)		4.04%	H30	5.04%
出産環境の整備	基本施策3 安心して出産できる環境が整備されている	【取組の方向性】 ①妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援 ②安心して出産できる体制づくり ③妊婦と胎児の健康保持・増進への支援			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標 (R06)
	たけはらっこネウボラの利用者数		501人	H30	550人
	適切な時期に母子健康手帳の交付を受ける人の割合 (妊娠11週まで)		90.0%	H30	92.2%

基本目標2 親が子どもと向き合い、子どもの成長を喜びながら、楽しく子育てできる環境が整備されている

【対象】 0歳から小学校入学前まで					
KGI (重要目標達成指標)		現状	年度	目標 (R06)	
未就学児童人口割合 (0歳～5歳) (住民基本台帳・年度末)		3.04%	H30	3.31%	
母子保健・小児医療・乳幼児医療・食育	基本施策1 親と子が健康で、元気に成長している	【取組の方向性】 ①子どもと母親の健康増進 ②予防接種の促進と小児救急医療の相談体制の利用促進 ③乳幼児等医療費への支援 ④食育の推進			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標 (R06)
	乳幼児の健診受診率 4～5か月		94.9%	H30	94.9%
	乳幼児の健診受診率 9～10か月		89.7%	H30	91.7%
	乳幼児の健診受診率 1歳6か月		96.5%	H30	96.5%
	乳幼児の健診受診率 3歳児		86.0%	H30	90.3%
	こども園等の給食の残菜率		0.96%	H30	0に近づける
	歯ブラシが正しく持てる子どもの割合 (3歳児)		47.5%	R01	57.0%
	はしがもてる子どもの割合		28.3%	R01	34.0%
はしが正しく持てる子どもの割合		10.2%	R01	12.2%	
子育て支援	基本施策2 多様なニーズに対応する子育て支援体制が整っている	【取組の方向性】 ①こども園等での質の高い就学前教育・保育の提供 ②保育人材の確保と多様な保育ニーズへの対応 ③充実した教育・保育環境づくり			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標 (R06)
	待機児童 (こども園等)		0人	H30	0人
kid's めるまが情報送信サービスの登録者数割合 (登録者/住民基本台帳 10/1 時点 18歳以下)		10.02%	H30	16.92%	

安全・安心なまちづくり	基本施策3 安全で、子育てしやすいまちになっている	【取組の方向性】 ①良好な居住環境の整備と都市機能の集積 ②公共施設の適切な維持管理 ③交通安全・防犯活動の推進			
	KPI(重要業績評価指標)		現 状	年度	目標(R06)
	公園を活用したイベント数(公園使用許可数)		—	H30	271件
	公園里親制度認定団体数		13団体	H30	14団体
	人口千人当たりの竹原市での交通事故発生件数		2.02件	H30	1.50件
人口千人当たりの竹原警察署管内刑法犯罪認知件数		3.31件	H30	3.0件	

### 基本目標3 充実した教育環境のもと、すべての子どもが心豊かにたくましく成長している

【対象】小学校入学から18歳まで				
KGI(重要目標達成指標)		現 状	年度	目標(R06)
就学児童人口割合(6歳~17歳)(住民基本台帳・年度末)		8.64%	H30	7.86%

学校教育	基本施策1 充実した教育環境のもと子どもの生きる力が育まれている	【取組の方向性】 ①地域とともにある信頼される学校づくりの推進 ②確かな学力の向上 ③豊かな心の育成 ④健やかな体の育成 ⑤充実した教育環境づくり			
	KPI(重要業績評価指標)		現 状	年度	目標(R06)
	基礎学力が定着している児童生徒の割合(広島県平均比較) 小学校・国語		0.0%	H30	3.0%
	基礎学力が定着している児童生徒の割合(広島県平均比較) 小学校・算数		▲0.5%	H30	2.0%
	新体カテストの広島県平均以上の種目の割合 小学校		95.80%	H30	96.90%
	新体カテストの広島県平均以上の種目の割合 中学校		41.47%	H30	50.00%
	朝ごはん喫食率(教育委員会「食事・生活アンケート」) 小学生		89.9%	H30	100%
	朝ごはん喫食率(教育委員会「食事・生活アンケート」) 中学生		79.7%	H30	100%
	あいさつができる子どもの割合(全国学力学習状況調査) 小学生		94.9%	H30	97.0%
	あいさつができる子どもの割合(全国学力学習状況調査) 中学生		96.0%	H30	97.0%
体験学習	基本施策2 様々な場所に豊かな体験学習の機会がある	【取組の方向性】①体験学習の推進 ②スポーツの推進			
	KPI(重要業績評価指標)		現 状	年度	目標(R06)
	小学生の児童館利用率		30.23%	H30	50.0%
	放課後児童クラブの待機児童数		0人	H30	0人
	新体カテストの広島県平均以上の種目の割合 小学校(再掲)		95.80%	H30	96.90%
新体カテストの広島県平均以上の種目の割合 中学校(再掲)		41.47%	H30	50.00%	
青少年の健全育成	基本施策3 青少年が健全に育っている	【取組の方向性】 ①学校での関係機関と連携した健全育成の推進 ②家庭・学校・地域の連携による教育力向上の推進 ③健全育成に向けた環境づくりの推進			
	KPI(重要業績評価指標)		現 状	年度	目標(R06)
広島県の不良行為少年のうち竹原警察署による補導数割合(広島県警 少年補導)		1.08%	H30	前年比減	

基本目標4 地域や社会が親、家庭に寄り添いながら子育てを支援し、地域に絆やつながりが生まれている

【対象】地域の人々					
KGI (重要目標達成指標)		現状	年度	目標(R06)	
地域交流センターにおいて、子育て支援の取組（子育て支援事業、世代間交流事業）へ参加する者の割合		4.74%	H30	8.30%	
男女共同参画	基本施策1 仕事と子育ての両立が推進されている	【取組の方向性】 ①雇用の確保と働き方改革の推進 ②女性の活躍の推進 ③男女共同参画社会づくりの推進 ④父親の育児参加の促進			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標(R06)
	男女が差別なく、ともに個性と能力を発揮できるまちだと思ふ人の割合		48.8%	H30	50.0%
	市内事業所の管理職に占める女性の割合		16.5%	H28	20.0%
地域の子育て支援	基本施策2 地域住民の子育てへの参画が進んでいる	【取組の方向性】 ①地域における子育て人材の確保 ②子育てのネットワークづくり			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標(R06)
	ファミリー・サポート・センター登録会員数		381人	H30	413人
	地域子育て支援センターの子ども一人あたり利用回数（子ども：0～2歳）		26.7回	H30	27.5回
支援が必要な子どもへの支援	基本施策3 すべての子どもと家庭をきめ細かく支援するための体制が充実している	【取組の方向性】 ①いじめ、不登校への対応と支援 ②児童虐待への対応と支援 ③支援が必要な子ども・家庭への支援			
	KPI (重要業績評価指標)		現状	年度	目標(R06)
	不登校児童生徒の割合 小学校		0.8	H30	0.15
	不登校児童生徒の割合 中学校		5.2	H30	2.5
虐待相談により死亡した子どもの人数		0人	H30	0人	



## ○子どもの貧困対策

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るとともに、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、子どもの貧困対策を総合的に推進します。

### 取組1 教育の支援

家庭環境や経済状況に左右されず、子ども一人一人がその個性と可能性を伸ばしながら成長できるよう、乳幼児期の教育・保育の確保をはじめ、学習環境の支援や子どもの学び意識の向上を図るとともに、教育の機会均等を確保します。

### 取組2 生活の安定に資するための支援

経済的に困難な状況にある子どもやその家族が、日常生活において心理的、社会的に孤立し、一層困難な状態に陥ることがないように、相談支援の充実を図るとともに、すべての子どもが健やかに成長できるよう支援します。

### 取組3 保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援

経済的に困難な状態を克服し、生活の安定を図るためには、保護者が働いて収入を得ることが第一義的に求められます。そのため、保護者の安定的な就業につながる支援や再就職へのサポートなど、経済的に自立した生活が送れるよう支援します。

### 取組4 経済的支援

経済的な支援については、親の健康状態や就労状況にかかわらず日々の生活を安定させる観点から重要です。そのため、生活基盤の安定に向けた各種手当、助成や貸付など諸制度を活用した適切な経済的支援を行います。

## ■指標

内容	現状	年度	目標（R06）
生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学者の割合（進学人数/対象人数）	1/1	H30	進学希望者の全員進学
生活保護世帯に属する子どもの高等学校等中退者の割合（中退人数/対象人数）	1/3	H30	中退者0人
18歳未満の子どものいる世帯のうち、生活困窮者自立支援相談により就労した者の割合	支援件数2 就労件数1	H30	支援したもののすべての就労を目指す
母子・父子自立支援員の支援により就労した者の割合	支援件数5 就労件数4	R01	支援したもののすべての就労を目指す
ひとり親家庭の親の就業率（母子家庭）	88.3%	R01	100%に近づける
ひとり親家庭の親の就業率（父子家庭）	71.4%	R01	100%に近づける

## ○事業量の見込みと確保方策

### ■教育・保育の提供体制の見込み量及び確保方策

計画期間における「幼児期の学校教育・保育の量の見込み（必要利用定員総数）」について、地域の実情等を考慮し、保護者に対して実施する利用希望把握調査やこれまでの支給認定の実績値の推移の傾向を勘案して設定しています。

事業区分	対象児童年齢
1号認定（幼稚園／認定こども園）	3～5歳
2号認定（保育所／認定こども園）	3～5歳
3号認定（保育所／認定こども園／地域型保育）	0～2歳

教育・保育事業			利用者数（人）				
			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1号認定	3歳以上 教育希望	見込量	119	119	112	115	106
		提供量	170	170	170	170	170
2号認定	3歳以上 保育必要	見込量	251	255	242	249	229
		提供量	335	335	335	335	335
3号認定	0歳以上 保育必要	見込量	41	40	37	36	34
		提供量	43	42	41	40	39
	1～2歳 保育必要	見込量	131	117	118	113	108
		提供量	157	157	157	157	157

## ■地域子ども・子育て支援事業の見込み量及び確保方策

この計画は、教育・保育以外でも多様な子育てニーズに対応するため、次の通り主な地域子ども・子育て支援事業の見込み量及び確保方策を設定しています。

事業		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備考
延長保育事業	見込量	245	244	245	245	246	実人数
	提供量	245	244	245	245	246	
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	見込量	308	318	329	329	329	実人数
	提供量	308	318	329	329	329	
地域子育て支援拠点事業	見込量	839	820	803	787	771	月あたり 延べ利用者数
	提供量	839	820	803	787	771	
一時預かり事業	見込量	3,257	3,226	3,209	3,201	3,209	延べ利用者数
	提供量	3,257	3,226	3,209	3,201	3,209	
病児・病後児保育事業	見込量	127	127	128	128	129	延べ利用者数
	提供量	127	127	128	128	129	
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・ センター事業)	見込量	1,069	1,048	1,027	1,006	986	延べ利用者数
	提供量	1,069	1,048	1,027	1,006	986	
利用者支援事業	見込量	1	1	1	1	1	か所数
	提供量	1	1	1	1	1	
妊婦健康診査	見込量	1,693	1,618	1,546	1,477	1,412	延べ利用者数
	提供量	1,693	1,618	1,546	1,477	1,412	
乳児家庭全戸訪問事業	見込量	90	86	82	79	76	実人数
	提供量	90	86	82	79	76	